




Simplex Technology, Inc.

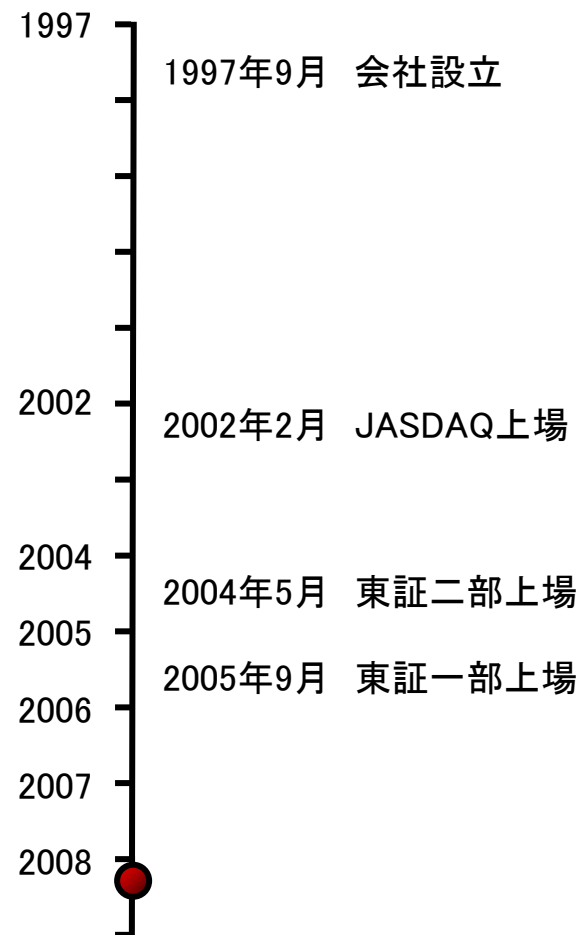
We listed shares on
Tokyo Stock Exchange first section.
September 1, 2005

プロフィール



金子 英樹
(昭和38年生、44 歳)
株式会社シンプレクス・テクノロジー
代表取締役社長

- アンダーセンコンサルティング
(現アクセンチュア)
金融機関向けシステムコンサルティング
- ソロモン・ブラザーズアジア証券
(現日興シティグループ証券)
トレーディング部門のシステム統括責任者



1997年9月、日本の金融機関の再生を支える
“純国産・日本発”の金融ハイテクベンチャーを設立

シンプレクス・テクノロジーとは

金融業界・金融フロンティア領域に特化

金融工学・金融業務知識・IT技術、すべてを兼ね備える

最新の
金融工学

金融
業務知識

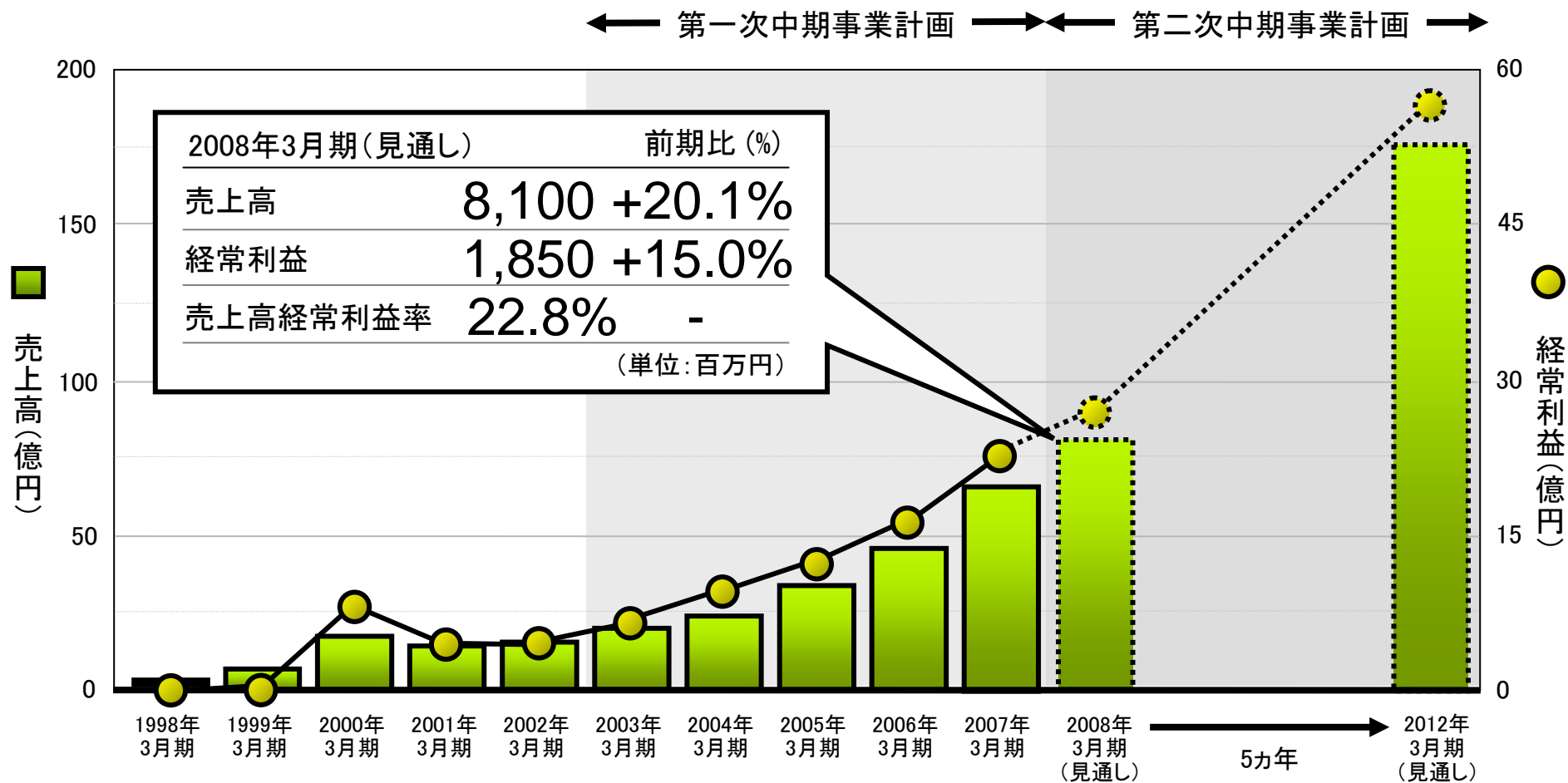
高度な
IT技術



金融ハイテクベンチャー

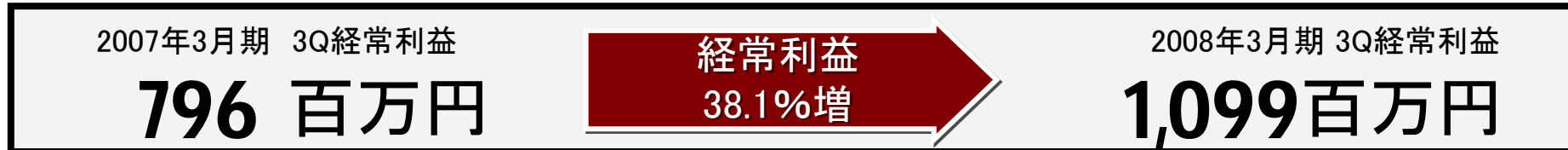
金融フロンティア領域とは: 金融機関の収益業務をIT技術によって支援する事業領域

売上高・経常利益の推移



※2012年3月期(見通し)は業績目標の中間値で表示しています

2008年3月期 第3四半期の概況



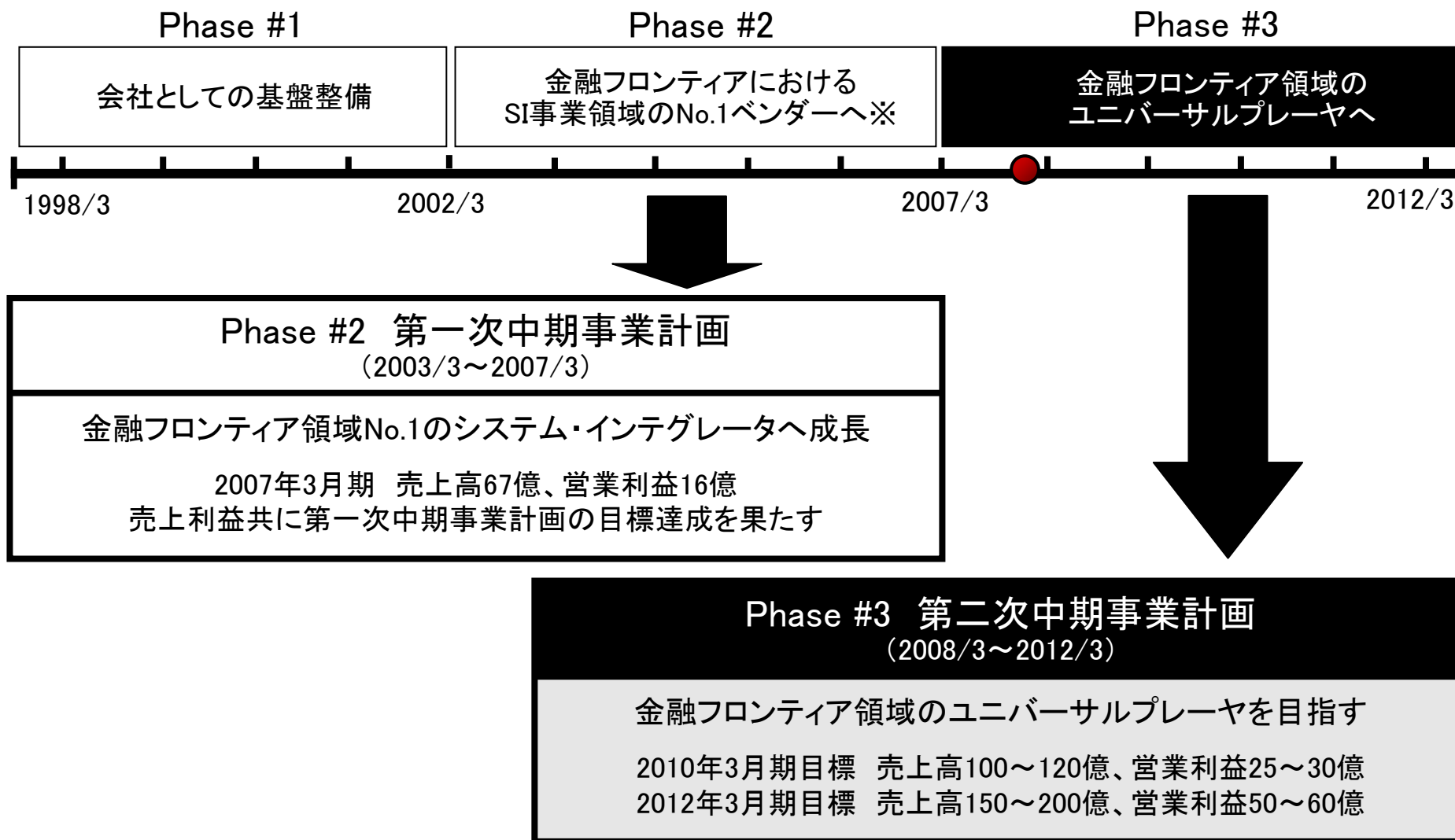
当期売上予定の受注残高を含む
2007年12月時点での当期予算達成率: **100.5%**
(前年同期の予算達成率は97.9%)

通期売上予想	: 81億円	} 合計 81.44億円
当期3Q売上高	: 48.68億円	
当期売上予定の受注残高	: 32.76億円	

受注残高が大幅に伸びる (63.0億円:前年同期比62.4%増)
今期分の受注残高を順調にこなせば、今期予算はほぼ達成可能な見通し

※通常、基本料金(固定)+インセンティブ売上となるUMS(サービス)は、基本料金(固定)のみを受注残高として計上しています

シンプレクス・テクノロジーの成長戦略



※SI事業とはシステム・インテグレーション事業の略称です

第一次中期事業計画の総括

(2003年3月期～2007年3月期)

第一次中期事業計画(2003年3月期～2007年3月期)

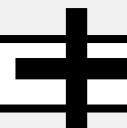
金融フロンティア領域No.1のシステム・インテグレータを目指す
(5年間で売上高60～70億、営業利益15～20億、売上高営業利益率25～30%)



事業の全体イメージ

シンプレクスの競争優位

自社の金融ノウハウに基づいた
提案型コンサルティング



最先端IT技術を駆使した
高い開発力

第一次中期事業計画の総括

2007年3月期:売上高67億、経常利益16億、売上高営業利益率23.9%を達成



金融フロンティア領域におけるNo.1システム・インテグレータへ成長

これまでの主要事業であるSI事業の問題点

1. フロー型(売り切り型)ビジネスのため、収益基盤が不安定
2. 利益率向上の限界
3. 優秀な人材の大量確保が困難な状況が、成長のボトルネックに

第二次中期事業計画について

(2008年3月期～2012年3月期)

第二次中期事業計画(2008年3月期～2012年3月期)

既存事業“SI事業”に並ぶ第2の事業として“UMS事業”を展開開始
最終年度には両事業の粗利益を30億円代にまで引き上げる計画

SI事業

受注開発ビジネス

UMS事業

サービス提供型ビジネス

金融フロンティア領域

SI事業とは: システム・インテグレーション(System Integration)事業の略称

UMS事業とは: ユニバーサル・マーケット・サービス(Universal Market Service)事業の略称

UMS事業プロジェクト事例: 個人投資家向けリアルタイム・トレーディング・ツール「SPRINT」

joinvest Express

導入顧客: ジョインベスト証券様
サービス名: ジョインベスト・エクスプレス

- 情報収集から発注までをリアルタイムで行える高機能トレーディングツール
- ジョインベスト証券様に口座を開設しているお客様に無料で提供中



その他導入顧客



(携帯向け: ハイスピードα)
松井証券様



三菱商事
フューチャーズ証券様



マネーパートナーズ様



オリックス証券様

UMS事業の特徴

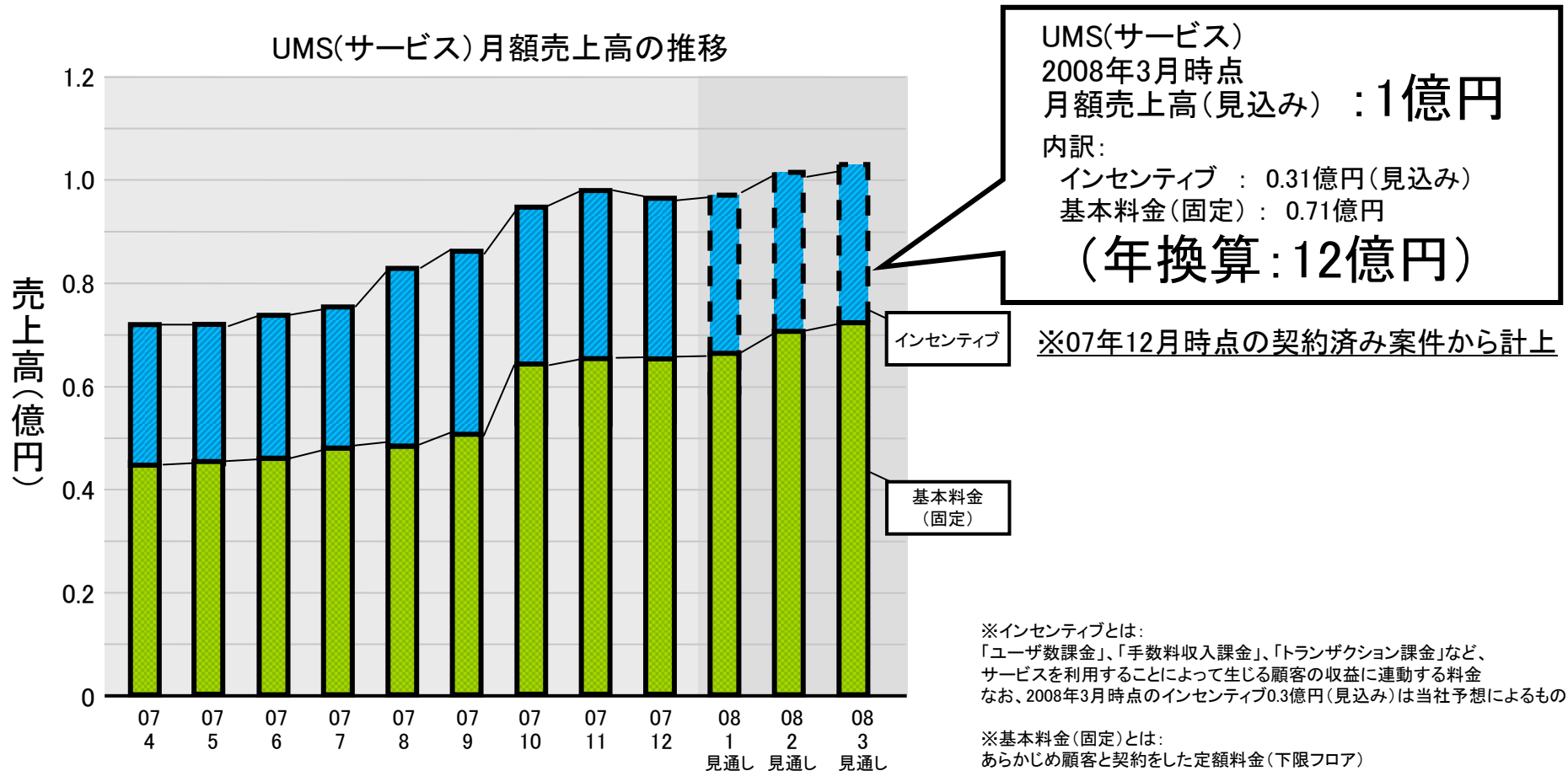
モノの納入ではなく、サービスを継続的に顧客に提供

サービスを提供するための“先行投資”が不可欠

顧客の収益と当社サービスの収益が連動するビジネスモデルを採用

- ▶ 継続的な安定収益の実現
- ▶ 営業利益率60%／高利益率の実現

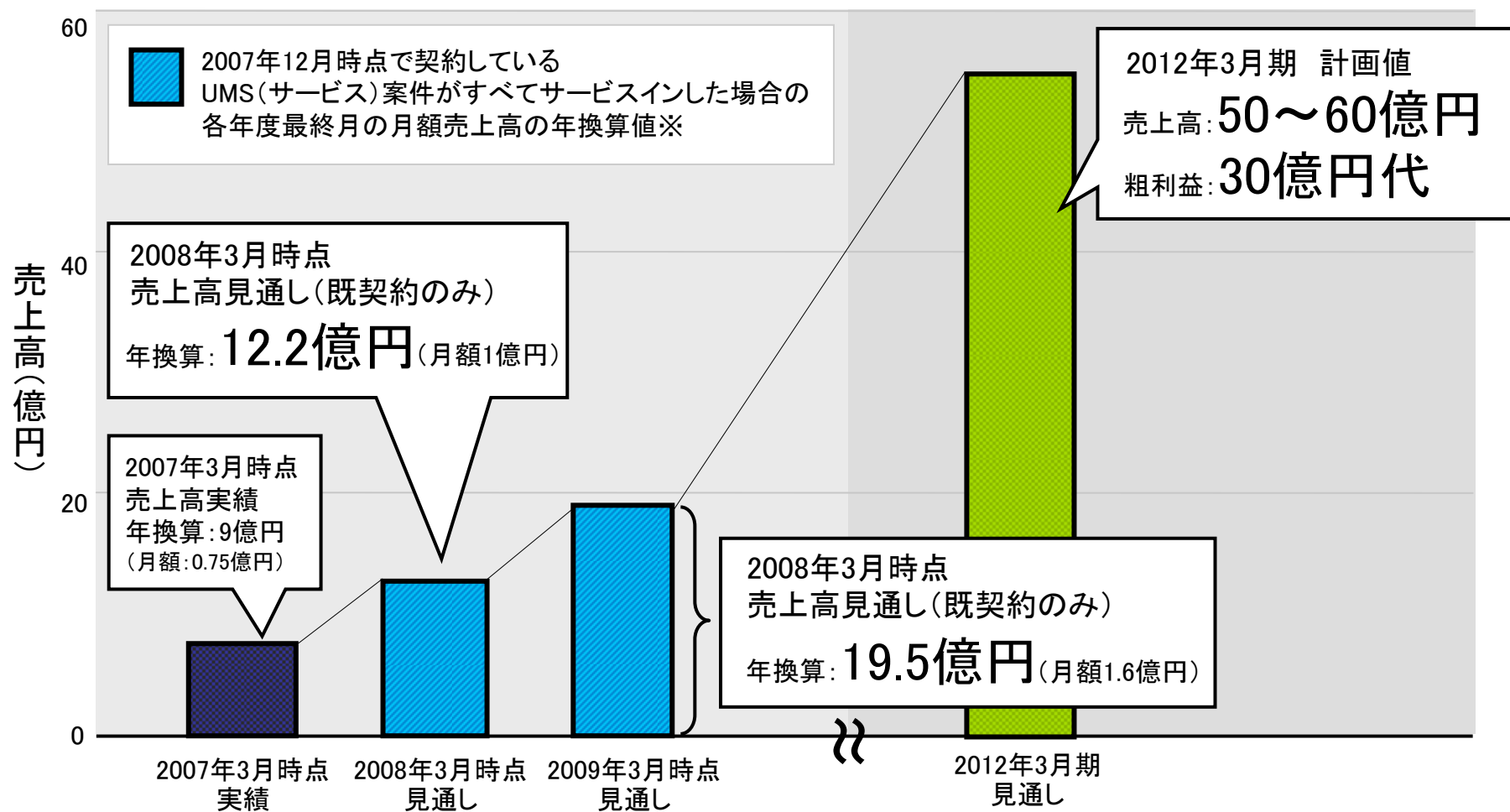
UMS(サービス) 月額売上高の推移



2008年3月時点で 月額売上高1億円(年換算12億円) となる見通し

UMS(サービス) 営業概況

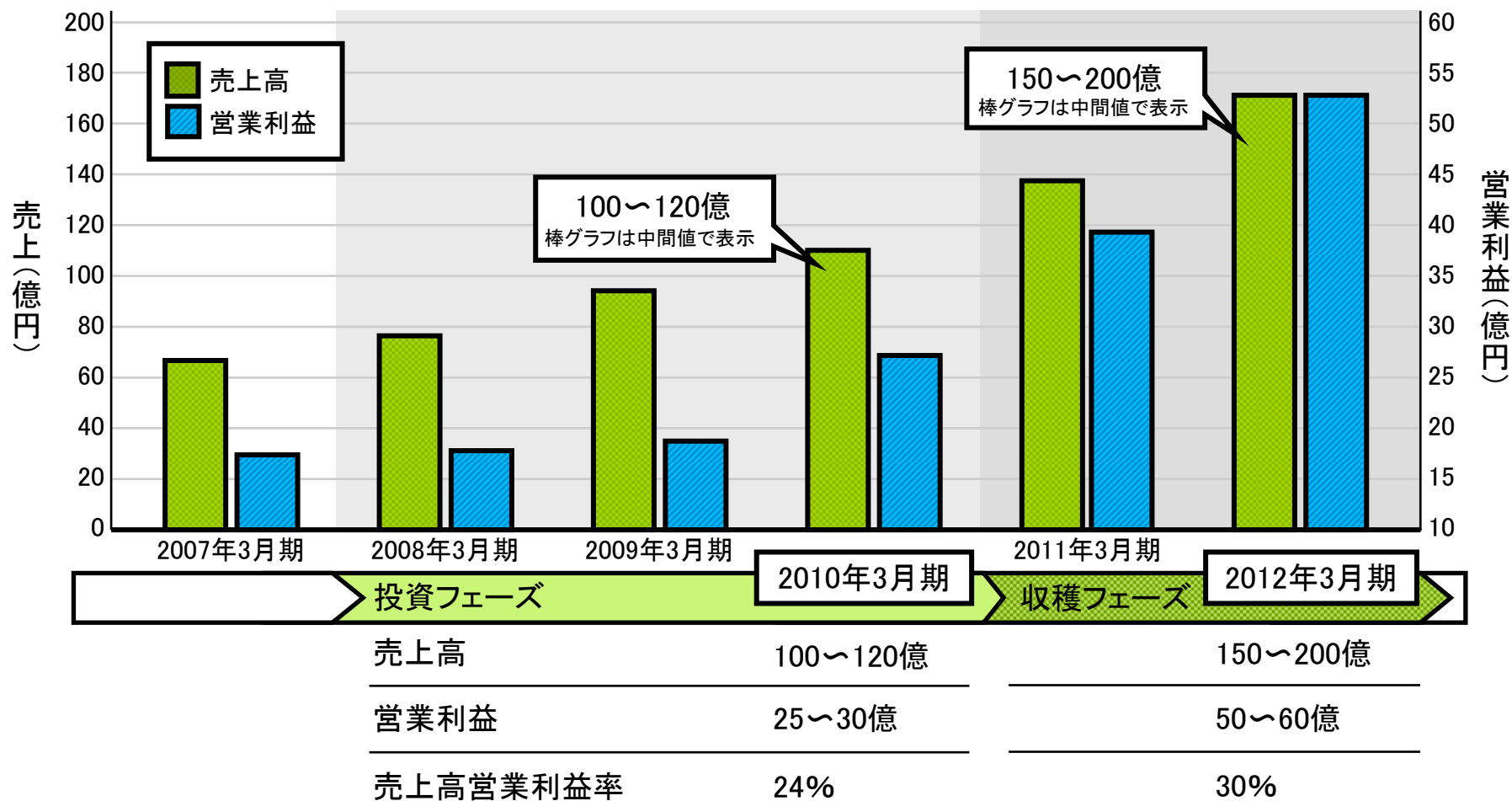
2007年12月時点でのUMS(サービス)営業概況



※年換算値は、各年度最終月の月額売上高(既契約分のみ)の値をを12倍し、小数点以下第1位を四捨五入したもの

第二次中期事業計画概要

売上高および営業利益の推移イメージ



※UMS事業向け先行投資として、5年間で50億円程度の投資を実施予定
 ※投資コストは各会計年度で費用化することを前提として計上



Simplex Technology, Inc.

We listed shares on
Tokyo Stock Exchange first section.
September 1, 2005